

音楽で 子どもと子どもが つながる

声を合わせて歌ったり
気持ちをそろえて演奏したりすることの
楽しさに気付く。
友達とアイデアを伝え合うことによって、
自分では思いつかなかった考えに気付く。
そういった協働的な学習，対話的な学習を通して、
音楽を学ぶことの楽しさを実感できるように配慮しました。

スタートカリキュラムに配慮した導入です

スタートカリキュラムへ配慮し、小学校に入学したばかりの1年生が、幼稚園や保育園などでの経験を生かしながら安心して授業に取り組めるように、教材の配列を工夫しました。

1年生の導入



1 年 p.6 ~ 11

挿絵をヒントにして、
知っている歌を探して
歌う。

【知っている歌のため、初めての授業でも安心して歌うことができます。】



友達と一緒に歌ったり
聴いたりしながら、体
を動かしたり手を打ち
合ったりする。

【友達づくりに自然につながります。】



輪遊び歌を活用し、グループやクラスで歌う。

【グループ活動を通して、声を合わせて歌う学習に段階的に慣れることができます。】

音楽活動を通してスムーズに友達づくりができます

低学年では、体を動かしながら歌えるわらべうたや遊び歌を取り上げたり、楽しく遊びながらリズム打ちをすることができる活動を取り入れたりするなど、学習を進めつつ友達づくりもできるように配慮しました。

わらべうた
の活用



2 年 p.58・59

1 年 p.62・63

音楽に合わせて
友達と一緒に
リズムを打つ
活動



2年 p.8



2 年 p.17

対話的な学びで、子どもの気付きや学びが広がり深まります

「何に注目し、どんなことを考え、どのように工夫すればよいのか」が分かると、子どもたちは自分で思考し始め、表現を工夫したり音楽に耳を傾けたりするようになります。音や言葉を使って、気付いたことやアイデアを友達と交換することを通して学びが深まるように、子どものキャラクターによる吹き出しを充実させました。

音楽科の特質に合った言語活動が充実するように、言葉によるコミュニケーションに加えて、音によるコミュニケーションを図れる教材やコラムを設けて、音や音楽を通して、子どもたちの対話的な学びが深まるように配慮しました。

友達との対話を通して

子どもどうしの言語活動の内容が充実するように、学習のねらいの達成に向けて考えてほしい内容や、発言の例を吹き出しで示しています。

3年 p.56・57

音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。

まほうの音楽

3～4人の組になって、ひびきの長さや音色のちがいを生かして、「まほうの音楽のもと」をつくりましょう。

(1) いろいろな楽器の音を鳴らして、ひびきの長さや音色のちがいをききくらべながら、自分のイメージに合う音をさがしましょう。

(2) ひびきの長さや音色を考えながら、楽器の鳴らし方をくふうして、「まほうの音楽のもと」をつくりましょう。

2 「まほうの音楽のもと」の組み合わせ方や重ね方をくふうしながら、くりかえしを使って、「まほうの音楽」をつくりましょう。

3 つくった「まほうの音楽」を入れて、「おしこのすきなまほう使い」(ト45ページ)を歌いましょう。

音によるコミュニケーションを通して

友達とお話するように楽器を演奏するという、音楽づくりの活動を通して、楽器の音色の面白さを共有します。

また、リコーダーの合奏では、互いの音をよく聴き合うことで、音も気持ちも一つにそろえてアンサンブルする活動の楽しさを体験します。

がっきの音のくみあわせを楽しみましょう。

がっきのおはなし

下のがっきの中から好きなものを1つえらび、のり、のり、のりのリズムをうちましよう。

2 気に入ったリズムを2つえらび、ならすじゅんばんをきめましよう。

いろいろなともだちと2人でくみになり、はくのにっておはなしするようにならましよう。

よびかけるやく こたえるやく

よびかけるやくとこたえるやくをこうたいしたり、えらんだリズムのじゅんばんをかえたりしてみよう。

あたらしくおほえること

かいてみよう

2年 p.46・47

合わせよう

- リコーダーを何人かで演奏する場合には、自分の音やみんなの音をよくきくことが大切です。例えば、吹いた音をみんなて「見る」ような感じで、音を合わせてみましょう。

自分の吹いた音を「見る」感じて吹く

みんなの音を1点に集めるイメージで音を合わせる

みんなて合わせた音が1つのきれいな音になる

5年 p.17

音楽を通して心がつながります

一つの音楽を友達と一緒に作り上げたり、心を込めてみんなで歌ったりするなど、音楽の楽しさを感じながら、協働的な学習を進められるように工夫しました。

協力して 音楽をつくる 活動を通して

自分がつくった旋律を友達がつくった旋律とつなげて、まとまりのある旋律をつくる学習を設けました。

5つの音で、せんりつをつくりましょう。

2人でせんりつづくり

1 下の5つの音とリズムを使って、4拍子で2小節のせんりつを2つ作りましょう。最後は5拍子の音で終わらしましょう。

使う音

せんりつをつくるリズム

ワークシート

2 2人の組になって、つくったせんりつをつなげましょう。

(1) それぞれのつくった2小節のせんりつをすべてつなげて、8小節のせんりつをつくりましょう。

つなげ方をくふうした例

どんな順番にしようかな。

(2) くり返しを使って、まとまりのある8小節のせんりつをつくりましょう。

くり返しをくふうした例

くり返しの使い方がちがうと、音楽の感じが変わるんだね。

えらんだ音を下の○や□に書きましょう。

①

②

4年 p.60・61

音楽で 思いを伝える

表現の工夫を考える際に、音楽を聴いてくれる人たちの存在について、あらためて考えることができるように工夫しました。

音楽で思いを伝えよう

あふれる思いを表現するとき、その思いはきいている人の心にきくと届きます。思いを伝えるためのヒントは音楽の中にたくさんあります。音楽と向き合い、気付いたり感じ取ったりしたことをもとにして表現を工夫しながら、気持ちをこめて歌ってみましょう。

6年 p.9

卒業に思いをこめて

• だれに伝えますか。

• どのような気持ちを伝えますか。

6年間の小学校生活で、いろいろな人と関わり合いながら、みなさんは成長してきました。

卒業するにあたり、先生や家族など身近な人たちへの感謝の気持ちをこめて演奏するときに、音楽の学習で身に付けてきた力を生かして、気持ちが伝わるように表現を工夫しましょう。

「卒業式」や「卒業を祝う会」などで、その思いを音楽で表現してみましょう。

音楽でどのように気持ちを伝えたいかな。

6年 p.53